株式会社スタメン
プレスリリース：2026年11月25日

iCure鍼灸接骨院を展開するiCureテクノロジー、「TUNAG」を導入

40店舗以上・約250名の情報共有を一元化し、店舗と本社をつなぐ社内ポータルへ



株式会社スタメン（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：大西 泰平、以下当社）は、関東・関西を中心に「iCure（アイキュア）鍼灸接骨院」を40店舗以上展開し、約250名の従業員が働くiCureテクノロジー株式会社（所在地：東京都品川区、代表取締役：浜口 大介）に、従業員体験プラットフォーム「TUNAG（ツナグ）」を導入いただいたことをお知らせいたします。

iCureテクノロジーは今後、会社からのお知らせや日々の報告、社内規定、チャットをTUNAGに集約し、40以上の店舗と本社をつなぐ社内ポータルとして活用し、情報共有の一元化と拠点を越えたコミュニケーションの活性化を目指します。

背景｜店舗と社員が増えるなか、情報が「届きにくく、探しにくい」状態に

iCureテクノロジーは、経営理念「Wellness & Happiness」やビジョン「統合医療で健康寿命プラス5」を掲げ、鍼灸接骨院の出店を続けています。各店舗の成果や日々の取り組みを全社共有、月に一度の社員交流の様子の投稿など、社内SNSを通じて店舗を越えたつながりを育む文化を大切にしてきました。一方で、店舗数や社員数の拡大に伴い、情報共有とコミュニケーションにおいて以下のような課題を抱えていました。

- **重要情報の見落とし**： 会社からのお知らせが新しい投稿に埋もれ、見落とされやすい状況でした。
- **情報共有基盤の分散**： ツールが複数に分かれ、過去のやり取りや社内規定をすぐに見つけることが困難でした。
- **理念浸透の難しさ**： 代表が直接理念を語る場を定期的に設けているものの、営業中の店舗があるため、全員の参加は難しい環境にありました。

選定ポイント｜社内ポータルとチャットの一元化と、現場で使いやすい操作性

iCureテクノロジーには、特に以下の3点を評価いただきました。

①社内ポータルとチャットの一元化

全社へのお知らせ、日々の報告、社内規定やマニュアル、店舗ごとのチャットや通話まで、業務に必要な情報をひとつのアプリに集約できる点を評価いただきました。重要な情報をポータル画面に固定表示でき、新しい投稿に埋もれない設計も支持されました。

②多店舗運営に対する柔軟な設計

カテゴリごとに、投稿できる人・閲覧できる人や入力フォームの内容を自由に設定できる柔軟性が評価されました。所属に合わせてチャットルームへの参加を自動化でき、店舗間の異動があっても管理の手間を抑えられる点もポイントとなりました。

③店舗スタッフが迷わず使える操作性と伴走支援

若いスタッフが多いiCureテクノロジーにおいて、スマートフォンでも使いやすいUI/UXである点が評価されました。導入後に専任の担当者が設計から定着まで伴走する支援体制も、決め手のひとつとなりました。

今後の展望｜理念が全員に届き、店舗を越えて挑戦しあう組織へ

iCureテクノロジーは、全社員のTUNAGへの参加を進め、日々の情報共有をTUNAGに集約していきます。

今後は、代表のメッセージや理念に関わる発信を、店舗で働くすべての社員に届ける基盤としてTUNAGを活用。日々の報告や研修での学びを店舗を越えて共有し、ある店舗の良い取り組みが他の店舗にも広がる状態を目指します。
将来的には各店舗のリーダー層からの発信も増やし、社員が目標に向かって協力し、挑戦できる組織づくりにつなげていく方針です。当社は、専任の担当者が利用状況を確認しながら、iCureテクノロジーの組織づくりを伴走支援してまいります。

導入担当者コメント｜iCureテクノロジー株式会社 運営サポート部 部長 竹村 大介様



これまで、店舗と本社間の情報共有やコミュニケーションにおいて、必要な情報が社員に十分に届きにくいことや、ツールが複数に分散していることで情報を探しづらいといった課題を感じていました。また、店舗数や社員数が増える中で、部署や拠点を越えたコミュニケーションの活性化や、会社からの情報発信をより身近に感じてもらえる仕組みづくりも必要だと考えていました。
その中で、社内ポータルとしての情報発信だけでなく、コミュニケーションや業務に必要な情報を一つにまとめ、社員同士のつながりを生み出せるTUNAGに魅力を感じ、導入を決定いたしました。
TUNAGでは、会社からの情報発信をより分かりやすく届けることはもちろん、店舗・本社間のコミュニケーションを活性化し、社員同士が気軽に情報共有できる環境をつくっていきたいと考えております。単なる情報共有ツールとしてではなく、社員が「会社のことをもっと知りたい」と思えるような、社内コミュニケーションの中心となることを期待しております。

TUNAGについて



TUNAG（ツナグ）は、組織の生産性向上や離職率の低下を目的とし、社内コミュニケーションと情報共有を促進する統合型プラットフォームです。利用中企業数は1,500社、利用ユーザー数は170万IDを突破しています（2026年9月15日発表時点）。
従来のエンゲージメント施策に多いサーベイや分析・診断中心のサービスとは異なり、TUNAGは実践支援型のプロダクトです。社内SNS、表彰、制度運用といった日々の行動に紐づいた機能設計により、組織課題を具体的なアクションで解決へ導きます。
さらに、ノンデスクワーカーにも届きやすい設計とUIにより、リモート環境や多拠点展開企業でも高い活用率を実現。サーベイにとどまらず、「つながり」や「感謝の循環」など、組織文化の醸成まで一貫して支援できる点が、TUNAGの大きな強みです。

TUNAGでできること（一部ご紹介）

会社からのお知らせ / WEB社内報 / 社長メッセージ / サンクスメッセージ / 1on1 / 日報 / 社内ポイント / 社員プロフィール・自己紹介 / 社内表彰 / 研修・マニュアル / 社内教育用テスト / 組織診断 etc…
■公式サイト：https://biz.tunag.jp/
■導入事例：https://biz.tunag.jp/case

株式会社スタメンについて

「一人でも多くの人に、感動を届け、幸せを広める。」を経営理念に、2016年に創業。その後順調な事業拡大により2020年12月に株式上場。HR Tech領域のサービスである「TUNAG」、クラウド型のIT資産管理・操作ログ管理ツール「Watchy」をはじめとした、複数のサービスを展開しています。
会社名：株式会社スタメン
代表者：代表取締役社長 大西 泰平
名古屋本社：愛知県名古屋市中村区下広井町1-14-8
東京本社：東京都千代田区麹町6-6-2 番町麹町ビルディング 5F
事業：TUNAG（ツナグ） https://biz.tunag.jp/
Watchy（ウォッチー） https://watchy.biz/
創業：2016年8月
従業員数：230名（2026年9月末時点の連結正社員数）
証券コード：4019
URL： https://stmn.co.jp/

当プレスリリースURL
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000398.000023589.html

株式会社スタメンのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/23589

本件に関する報道お問い合わせ先

株式会社スタメン

TEL：052-990-2405｜MAIL：pr@stmn.co.jp

担当：菊地夏美（080-4804-9642｜natsumi.kikuchi@stmn.co.jp）